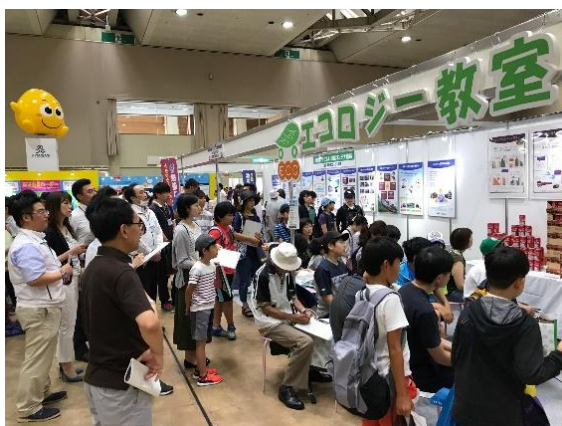


交通エコロジー教室 in 環境広場さっぽろ2017 ～大学生が講師を行いました～

北海道運輸局交通政策部環境・物流課

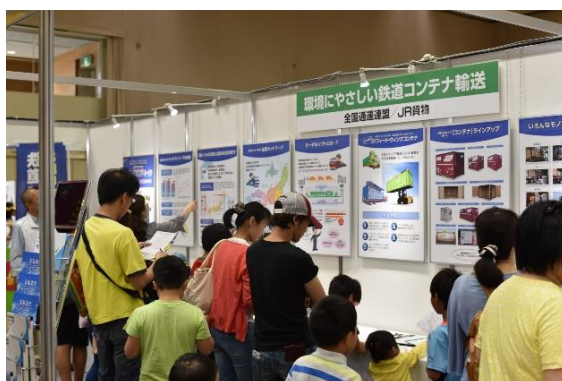
北海道運輸局では（公社）全国通運連盟及び北海商科大学と連携し、札幌市が主催する「環境広場さっぽろ2017」におけるブース出展者として、8月4日から8月6日までの3日間「交通エコロジー教室」を開催しました。

今回の「交通エコロジー教室」では、環境について物流面から考えるということを中心に、「地球温暖化と運輸」及び「鉄道貨物輸送」という題目で、小学生などの子供にも理解できるような講義を行いました。



会場には多くの親子が参加してくれました

「地球温暖化と運輸」の講義では、運輸部門での地球温暖化対策ということで、どのようにしたら環境に優しく、かつ、効率的なモノの運び方ができるのかについて、また、「鉄道貨物輸送」の講義では、北海道と本州を結ぶ青函トンネルや鉄道貨物が運ぶ輸送品目の紹介を行いながら、物流が私たちの生活に深く関係していることについて説明を行いました。



クイズラリー形式のパネル展示

今回、教室を開催するにあたり、北海商科大学の学生に講師を依頼しました。

講義の内容が来場者に対し適切に伝わるように、講師の大学生自らが環境面から物流について学び、構成を組み立て、実際の鉄道輸送現場見学も行いました。

そうした過程の中で、物流産業の役割・重要性を理解するとともに、本業界への関心や興味を少しでも抱かせることができたのではと思います。北海道運輸局として、物流・海事産業を支える人材確保・育成に向けた取組を進めている中で、このように大学生と連携し、物流をテーマとした取組はとても意味のあるものとなったと考えます。

また今後も、このような取組を継続して進めてまいります。



物流関係に興味を持つ学生に協力いただきました

講義受講者は3日間で約550人を超え、受講者アンケートからは、

「日頃聞く機会がないテーマで、とても新鮮でした。」

「モノの運び方によって、二酸化炭素の量があんなに違うとは知りませんでした。」等の意見が寄せられ、「環境・物流」に対する意識付けができたと考えています。



質問に積極的に答える子供たち

このように、交通エコロジー教室 in 環境広場さっぽろ2017が、広く市民に対し、物流についての役割・重要性を周知するとともに、環境問題の啓発を行う良い機会となったと思います。